

戦国武将の 実力

小和田哲男

近世に書かれた織田氏の系図は、どれも信長の家が嫡流(本家)だったかのようになっているが、実際は、分家のさらに分かれてあった。

尾張(愛知県)には守護代が2人いて、信長の父信秀は下四郡守護代清須織田氏の一族で、その家臣の一人にすぎなかった。「三奉行」とか「三家老」などといわれている。しかし、居城とした場所が勝幡だったことからみる頭角をあらわすのである。



イラスト・兜金雅之

織田信秀

1511~1552

津島で経済力 主家凌駕

という町があり、そこは、木曾川舟運と伊勢湾舟運を結ぶ港町であり、津島社牛頭(天王社)を擁する宗教都市でもあった。信秀は津島の商業活動を掌握して経済

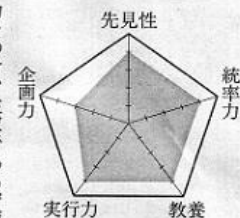
れば西端に位置する形だったので、信秀は尾張今川氏の居城だった那古野城を奪い、そこを居城とし、尾張一國を代表する戦国大名への道を歩みはじめた。天文10

に戦っていた。信秀のすごいところは思いきりのよさである。天文13年(1544年)、同16年と、2度にわたって美濃

に攻めこみながら、勝てなそれが信秀の限界だったかもしれない。国内の敵を一掃する戦いは子の信長に受けつがれた。

(静岡大学名誉教授)

力をつけ、主家である守護代家をも凌駕していくことになったのである。勝幡城は尾張全体からみ



年(1541年)に伊勢豊受大神宮の仮殿造営費を寄進したり、同12年には皇居の築地修理費として4000貫を献じたりしていた。信秀がほぼ尾張一國を征圧すると、東隣、三河(愛知県)まで勢力をのばしてきた今川義元、北隣的美濃(岐阜県)の斎藤道三と戦うことになり、はじめのうち、信秀はこの2人を相手

いとみるや、斎藤道三に同盟を申し入れているのである。結局、同17年秋、和が結ばれ、道三の娘濃姫が信秀の子信長のもとに嫁ぐことになった。信秀はどうしたわけか、徹底的に尾張国内の反対勢力をたたきつぶすということをしなかった。尾張を代表する形になっても、上四郡守護代の岩倉織田氏、下四郡守護代の清須織田氏、それに守護の斯波氏に対しても直接には手を下さず、それらの勢力を残したまま、国外の敵と戦っていたのである。



蜂須賀小六正勝

愛知県海部郡美和町蜂須賀北本郷1343

名は正勝（まさかつ）、幼名は小六、通称は彦右衛門。大永6年（1526）あま市（旧美和町）にあった尾張の旧家に生まれ、のちに木曾川の川並衆として秀吉と格別の関係を結んだ。最初、斎藤道三に仕え、次いで織田家に従う。豊臣秀吉の墨俣築城を助け、この頃から秀吉の配下に加わり、秀吉の出世・天下統一を支える。秀吉の四国平定の後、長年の労をねぎらわれ阿波一国を与えられるも辞退、子・家政がこれを受ける。秀吉に人生を捧げた男、秀吉の側近としての生涯を貫き、天正14年（1586）、大坂城外の御殿山屋敷にて没す。享年61歳。

情報源 <http://26.pro.tok2.com/~ushi259/koroku.html>

わがふるさと

史跡



福島正則(1561~1624)

愛知県海部郡美和町二ツ寺屋敷

福島正則は、母が秀吉の母「なか（後の大政所）」の妹で、いわゆる藤吉郎（秀吉）と従兄弟関係にあり、幼いときから秀吉に仕えて出世した。活躍で有名なのは賤ヶ岳の合戦で戦功を立て、加藤清正ら六将とともに「賤ヶ岳七本槍」と数えられ、正則は一番槍として突出した戦功を立てた。その後も、数々の戦功をたて、文禄4年に24万石で「清洲城」城主となった。慶長5年の関ヶ原の合戦では徳川方につき東軍の先鋒として大活躍をして安芸「広島城」城主の大大名となった。しかし徳川幕府からの扱いはその立場から飼い殺し状態になってしまい、大坂の陣にも参戦出来なかった。

情報源 <http://26.pro.tok2.com/~ushi259/fukusima.html>



今も怖かった思い出が残る！！

伊勢湾台風

恐ろしかった伊勢湾台風

昭和34年（1954）9月26日 夜

中学2年生とき、愛知県、三重県に大きな災害をおよぼした伊勢湾台風（死者5,000人以上）。あの晩は両親と3人。夜の9時過ぎころから、風雨が徐々に強くなりだし、電気は消え家の中は真っ暗となる。南縁側の雨戸がガタガタと揺れ、天井から雨がポトポトと和室の畳の上に落ちだした。暴風で雨戸が外れるのではないかと不安と恐怖でいっぱいでした。しばらくすると（夜中の12時頃か）、家の北の方から村の人たちのガヤガヤ話し声するのが聞こえてきた。何だかよくわからなかったが、しばらくたって厚ちゃんの家が倒壊、家の人を救い出していたことがわかりました。今でもあの晩のことはよく覚えている。



<お詫びとお知らせ>

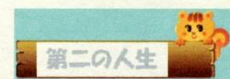
[保存 蚕糸研究のパネル \(70MB\)](#) について

いまの時代、本で残すと同時にインターネット上に公開すると、より大勢の人に知ってもらおう上でたいへん有効な方法であろうと考えます。そこで蚕糸研究の足跡・功績を独断と偏見で「国の近代化と文明な暮らしのために邁進した蚕糸技術研究 - 蚕糸研究のパネル、写真で綴った 創立からのあゆみ」を編集しました。 製作した[保存 蚕糸研究のパネル \(70MB\)](#)は、このホームページ上に今まで10年間にわたって登載して参りました。しかしながらホームページの使用可能な契約容量が不足となってきました。→ 現在の使用容量 290MB（契約容量_{300MB}の97%）このため、やむを得ず2014年12月25日をもって[保存 蚕糸研究のパネル \(70MB\)](#)を削除しました。かわって、[保存 蚕糸研究のパネル \(70MB\)](#)をご希望の方にはCD-Rに印刷して頒布いたします。お申し込み先は下記メールアドレス宛てにお願いします。 katouhiro@nifty.com

昭和29年中日ドラゴンズ優勝（日本一）

監督 天知俊一

1	中	本多逸郎
2	右	原田徳光
3	一	西沢道夫
4	三	児玉利一
5	左	杉山 悟
6	捕	野口明、河合
7	二	井上 登
8	遊	牧野 茂
9	投	杉下 茂(32勝12敗) 石川、徳永、空谷



人生に感謝

静やか ゆったり 平穏心 平々凡々 今のままでいい



13番歌 筑波山の峰より 落つるみな川の 志を値もりて恋となりぬる 船成院


え・平井初芽さん
(平井剛夫さんのお嬢さん)

平成二十四年(2012年)
おだやかな良い年でありますように
本年もどうぞよろしく！

桃季不言下自成蹊

桃季の光と風と花色の中で 思いっきり深呼吸したい 生命の恵をつなぐ 生きる・必ず見守っている人がいる 自分を大切に

今日も穏やかでありますように 愛がす 話せず 漏れせず 健康 平和 室内安全 晴 無 曇 雨 霜花 寒風風雪に 暖めて花開く

●相手のことを考える	マイペースで！ anti-ageing 4か条	目々量 on-off くりかえし	他人よりは他人ひと 自分は自分	●身体の内圧 下げる
●一心になる □いくつになっても "next one" 前に進む気持ち	●睡眠は8-9時間摂るように □大股 疲れとストレス	●仕事は集中と実直に □緊急をつけることも □終われば 心身の解放と休息 □リラックス&リフレッシュ	●みな平等になくてもいい □みんな違ってもいい □みんないいんだ～ □違いがあるからこそ わかるんだ～あ	●"time out"と声を出して □それでもいい □それでもない □それでもない！
●上ばかり見ない □時にはちよっと離れてみることも忘れずに	●食事は腹8分目 本当は7-8分目	●比べない □うらやまない □"学ぶ" はず・今を楽しめ	●暮らし方に正解なんてない □100%なんてなし	●余分なことを考えない □他人を気にしない □"無"の心境
●笑顔 □ゆっくり休めば大丈夫 □笑うと気持ちがラクになる	●運動は自分の歩幅で散歩を30分 途中で止めてもいい □身体にあればこれ科さない	●煮詰まらない □淡々と 一呼吸おく	●誰しも事情を抱えながら働いている □弱音を吐くことも、涙を流すこともいい	●十のこととて □過信するなかれ
●お礼の気持ち □自分を大切に	●いつも変わらない気持ち □ご機嫌で居る	●やりたいことをする □無理をしない大事さ	●気持ちを楽に □胸の力を抜く、力まない	●自然体 □あるがまま、のんびり楽に

●サイトマップ/サイト発信者 ●要系研究のバベル.70MB ●製糸技術の進歩と伝播/要約 ●ヒメマルカツオブシムシ ●要系あれこれ New! 暮らしのなかで

New! ホップ ステップ ジャンプ

●利用させていただいたホームページ素材



●<初代HP>...ナレッジコム 絹の精練染色 たんけん・はっけん 台湾 苗栗區農業改良場 野聖・昆虫関連サイト

トップページ<要系研究のバベル.70MB>は大量のため、このページから各ウェブサイト(インターネットサイト含めて)にリンクいたします！

p01-main 検索

戻る 第二の人生

初代ホームページのトップページでした